

功労者部門：米森 十一（よねもり とういち）氏（さつま町）

## 経 歴



平成15年 金吾様踊り活性化委員会の発足に貢献  
平成19年 中津川区公民館長に就任  
平成20年 大念仏踊りの復活と伝承のために活動開始  
平成29年 さつま町高齢者クラブ事務局長に就任  
平成30年 中津川区公民館が豊かな農村づくり全国表彰事業で農林水産大臣賞受賞。併せて、中津川区公民館が南日本文化賞受賞  
令和元年 さつま町文化財保護審議会委員に就任  
中津川区公民館が全国地域再生大賞受賞

## これまでの功績の概要

- ・平成 15 年に発起人として「金吾様踊り活性化委員会」を発足した。
- ・平成 19 年に中津川区公民館長に就任し、地域の様々な団体に働きかけ、地域活性化に尽力した。
- ・平成 20 年に補助事業等を活用し「大念仏踊り」の復活と伝承のため、本格的に活動を開始した。
- ・平成 22 年に「地割舞い」を 55 年ぶりに復活させた。委員会発足から 7 年の取組みで住民の心は一つになり、子どもから高齢者まで農村づくりに関わるようになっていった。
- ・平成 23 年に話し合いを基本とした持続可能な農村づくりの推進を図るため、「中津川地区地域づくり活性化計画」を策定した。
- ・平成 28 年「稚児舞い」「棒打ち舞い」が復活。女性グループや子ども会活動にも農村づくり活動の意義や成果について熱心に諭され、人望の高さを発揮した。
- ・オリジナル焼酎「金吾さあ」の製造・販売、名入りの幟販売、「なかっこ日曜朝市」の開催等、持続可能な農村づくりが継続中である。

## <活動状況>



55年振りに復活した「地割舞い」



焼酎[金吾さあ]原料のさつまいも圃場



女性組織[ゆめはな会]の交流活動